

戦国の三木を語り継ぐ

三木合戦軍図絵解き

間みき歴史資料館 ☎82-5060



天正6年(1578年)から約1年10カ月にわたり続いた三木合戦。その様子を描いた「三木合戦軍図」を用い、語り手が絵を指し示しながら戦の経過を語り伝える市指定無形民俗文化財「三木合戦軍図絵解き」が、毎年4月17日に法界寺で行われています。戦の物語を絵解きとして現在も継承している例は全国でも少なく、続けられているのは三木と愛知県知多郡の2カ所のみです。絵に込められた物語を通して、三木の歴史に触れてみませんか。

語り手の生田さんに話を聞きました /

300年受け継がれる大切な伝統

曾祖父が語り手を務めており、幼少の頃にその語りを家族で聞いた記憶がありました。その後、私自身も寺の総代から依頼を受けて語り手を始め、これまで30年以上続けています。

三木合戦軍図絵解きは、別所長治公の100回忌に当たる江戸時代中期に始まったとされ、そこから現在に至るまで別所公に感謝する人々の思いに支えられながら守り継がれてきました。

私が語り手を始めた当初は、別所公にゆかりのある人々の参列が中心でしたが、現在は歴史に興味のある方など、多くの方に来ていただけるようになりました。そのため、語る際は分かりやすく伝えることを大切にしています。絵解きは法要の一部であり、昔の言い回しも多いため、前もって解説を行うなど、初めての方にも理解してもらえるよう工夫しています。

人と人とのつながりの中で受け継がれてきたこの大切な伝統を多くの人に知ってもらい、次の世代へつないでいけるよう、これからも三木の歴史や魅力を伝えていきたいです。



語り手 生田淳仁さん

今年も開催！三木合戦軍図絵解き

▶日時 4月17日(金) 午前10時～、午後0時30分～

▶場所 法界寺(別所町東這田)

☎法界寺

☎82-4569

中央に見ゆるは
三木の本城なり・・・

三木合戦軍図

三木合戦の様子を描いた軍図の3幅(高さ約2.2メートル、幅約1.5メートル)は、別所長治公の子孫によって寄進されたもので、三木城を中心に戦の経過や周辺の地形などが細かく表されています。当時の状況を知ることができる貴重な資料として、別所公の菩提寺^{ほだい}である法界寺に大切に伝えられてきました。

※故人の供養を行うゆかりの寺



広報みき No.984
2026年4月1日発行

編集発行：
三木市総合政策部秘書広報課 ☎0794-82-2000(代)
〒673-0492 上の丸町10番30号
https://www.cty.miki.lg.jp/

■広報みきは新聞折込(日刊紙)、宅配でお届けしています(点訳版・音訳版もあり)。新聞未購読の方や点訳版・音訳版をご希望の方は(市)秘書広報課までご連絡ください。

■人口(2月末現在)
72,101 (一) 70
男: 34,852 (一) 39
女: 37,249 (一) 31
世帯数: 35,039 (+) 3